

2015年 戦後70年 憲法を守り生かす本格的なたたかいかへ



発行責任者
勝見 忍
山形市薬師町2-6-15
新発見ビル3F
TEL 023(615)2172
FAX 023(615)2173
URL: <http://www.yamagataroren.com>
Email: yamagataroren@yahoo.co.jp

福島県南相馬市小高区から撮影した初日の出 津波で破壊されたまま多くの家屋がまだ放置されている

道理あるたたかいは いつか必ず勝つ!!

議長 濱田藤兵衛

組合員の皆さん、あけましておめでとうございます。今年も県労連運動に結集くださるようお願いいたします。さて、昨年は、安倍首相の突然の解散による衆議院選挙で慌ただしい年の瀬となりました。マスコミでは「自民党の圧勝」論が振りまかれましたが、実は自民党は比例で80万票減、議席4減の結果です。比例の得票率はわずか33%に過ぎません。自民党は確実に票も議席も減らしているのが実態です。一方、労働法制改悪、消費税増税、原発再稼働問題等で私たち県労連とも共闘する共産党は得票を90万票増やし、議席は2.6倍の21議席に大躍進しました。また、沖縄の四選挙区全部で辺野古への米軍基地移転反対を掲げる候補者が現職の自民党候補を破り当選しました。こうしてみると、消費税増税・原発再稼働・戦争する国づくり・アベノミクスなど、国民の

多数が「反対」している運動では、世論への訴えの面でも、政治闘争でも、少しずつ着実に前進していると言えます。また、私たちは、昨年の最低賃金引き上げ運動や春闘学習の中で、「労働者の賃金を引き上げてこそ景気回復や雇用拡大ができる」「トリクルダウン論（大企業の利益が上がって初めて中小企業の利益が、次いで労働者の賃金が上がるとする理論）は世界的に誤りが証明され、その論に基づくとアベノミクスも誤りである」ことを学びました。以上のことから、私たちは、紆余曲折があっても道理ある闘いは「いつか必ず勝つ」との確信を持つことができず。今年も「生涯ハケン」「残業代ゼロ」法案等、安倍政権からの激しい攻撃が避けられませんが、「いつか必ず勝つ」との明るい展望を持って運動と闘いを進めていくにはありませんか。

余談

前号で、わが県労連と協力・共同の関係にある日本共産党が今回の総選挙で、大幅に議席を伸ばし議案提案権まで獲得したことにふれた。選挙後、「よかつたね」「頑張ったかいがあつたね」等の言葉を交わした方も多かったと思う。小生に來た年賀状にも選挙結果にふれたものが多数あつた。なお、東北各県で各1万票上積みされれば2議席目に届いたのに、と残念がるものがあり次回は必ず達成しようと言語合った。考えてみれば、来年の参院選のことを言う前に、今年には統一地方選挙がある。この選挙でも私たちが要求が一致する候補者を多数当選させたいものだ。沖縄における知事選と衆院選で、辺野古移設反対の一点で共闘が成立し、みごと自民党の野望を砕いた。この勢いを職場にも浸透させて、「たたかう労働運動」こそ正當なのだと思われるような職場をつくっていく。

(嬰兒)